

教養教育機構 公開講座

# 教養教育ウィーク

## —Freshmenの気分—

### 受講者募集

定員  
先着50名  
要申込

日時：11月13日(月), 15日(水), 17日(金) 各日ともに 10:30-12:00, 13:00-14:30

会場：三重大学 教養教育校舎 3号館 ※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

対象：市民一般 受講料：500円(資料代) ※何講座受講しても同一料金です。

1日2講座ずつ3日間にわたって、バラエティとインテリジェンスに富んだ講座を開講します。  
三重大学をFreshmenの気分であらためて味わってみませんか。

日程表 ※詳しい内容は裏面をご覧ください。

11月13日(月)

①10:00~10:20 (開講式・参加自由)

ようこそ公開講座へ—三重大学の教養教育と公開講座— 挨拶：井口 靖 (教養教育機構長)

②10:30~12:00

日本外交史の中の同盟と「安全保障のディレンマ」 講師：中谷 直司 (教養教育機構・特任准教授)

③13:00~14:30

オセアニアの島のくらしと教育 講師：奥田 久春 (教養教育機構・特任講師)

11月15日(水)

①10:30~12:00

学名を嫌いにならないで！

講師：福田 知子 (教養教育機構・特任講師)

②13:00~14:30

音を診る—騒音の計測と評価—

講師：野呂 雄一 (教養教育機構・准教授)

11月17日(金)

①10:30~12:00

マイナスイオンや水素水は体に良いのか？～科学とニセ科学～ 講師：和田 正法 (教養教育機構・講師)

②13:00~14:30

社会問題の論じ方：論証ゲームで学ぶ社会学 (入門編)

講師：林原 玲洋 (教養教育機構・講師)

#### 申込方法

①お電話 ②FAX ③E-mail のいずれかよりお申込みください。

その際、お名前・連絡先・希望する講座名(複数受講可)をお知らせください。

※お申し込み後のキャンセル・変更等につきましては、直接、下記までご連絡ください。

お申込み・お問い合わせ

教養教育機構チーム 総務担当

TEL: 059-231-9820, 9827 FAX: 059-231-9353

E-mail: kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp

月日	10:30～12:00	13:00～14:30
11/13 (月)	<p><b>日本外交史の中の同盟と「安全保障のディレンマ」</b> 講師：中谷 直司（教養教育機構・特任准教授）</p> <p>近代以降、日本はこれまで4つの同盟（日英同盟、第四次日露協約、日独伊三国同盟、日米安全保障条約）を結びましたが、その動機（利益）はどのようなものだったのでしょうか。同時に、同盟を結んだことによってどのような問題に苦しんだ／苦しんでいるのでしょうか。以上の問題を、国際政治学の考え方を緩やかに適用して考察します。</p>	<p><b>オセアニアの島の暮らしと教育</b> 講師：奥田 久春（教養教育機構・特任講師）</p> <p>オセアニアにはオーストラリアやニュージーランドのほか、多数の小さな島国が存在し多様性に富んでいます。そうした島国の暮らしと学校をフィールドワーク感覚で読み解きながら、伝統とグローバル化の影響を考えていきます。昨年の内容を改訂して、研究成果も踏まえて最近の教育改革の動向も触れながら、また日本との比較も行っていきます。</p>
11/15 (水)	<p><b>学名を嫌いにならないで！</b> 講師：福田 知子（教養教育機構・特任講師）</p> <p>図鑑にはよく日本語名と一緒に学名が書かれています。「日本語だけでいいのに」、と私も昔は思っていました。でも使ってみると学名は便利というだけでなく、その生物の特徴を言い当てていて感心したりします。今回の講演では学名のつけ方、形式、から分類学の話まで、さまざまなエピソードを交えてお話しします。</p>	<p><b>音を診る—騒音の計測と評価—</b> 講師：野呂 雄一（教養教育機構・准教授）</p> <p>音は身近な存在でありながら定量的に評価することは難しいものです。特に騒音の評価では様々な専門用語が使われ、その理解を一層困難にしています。本講座では音や耳の基礎的な性質とともに、それら専門用語の意味や概念について平易に解説します。また、環境保全を目的とした法令やアセスメントの現状についても紹介します。</p>
11/17 (金)	<p><b>マイナスイオンや水素水は体に良いのか？～科学とニセ科学～</b> 講師：和田 正法（教養教育機構・講師）</p> <p>「マイナスイオン」、「水素水」といった科学的であることを装った商品がブームになることがあります。これらは体に良いものなのでしょうか。そもそも、どのようなものなのでしょうか。「ニセ科学」をキーワードに、科学の哲学の観点からこうしたブームを分析することで、あらためて科学とは何なのかを考えてみましょう。</p>	<p><b>社会問題の論じ方：論証ゲームで学ぶ社会学（入門編）</b> 講師：林原 玲洋（教養教育機構・講師）</p> <p>社会問題を論じることには、特有の困難があります。社会現象はその因果関係が複雑であるばかりか、そもそも同じ現象を「問題」と感じる者もいれば、感じない者もいるからです。本講演では、「マインドマップ」という発想法を援用して、社会問題の複雑さを解きほぐす方法（論証マップ）を提案します。</p>

<b>会場アクセス</b>  三重大学所在地： 〒514-8507 津市栗真町屋町1577	J Rまたは近鉄「津駅」下車	津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「棕本(むくも)」(52系統)、「高田高校前」(56系統) 行きで、「三重大学前」下車
		津駅からタクシーで約10分
	近鉄「江戸橋駅」下車	徒歩で約15分

## 受講申込書

お名前 (ふりがな) \_\_\_\_\_

連絡先 (電話番号またはE-mailアドレス) \_\_\_\_\_

希望する講座 (チェックをしてください。※複数選択可)

- ① 日本外交史の中の同盟と「安全保障のディレンマ」
- ② オセアニアの島の暮らしと教育
- ③ 学名を嫌いにならないで！
- ④ 音を診る—騒音の計測と評価—
- ⑤ マイナスイオンや水素水は体に良いのか？～科学とニセ科学～
- ⑥ 社会問題の論じ方：論証ゲームで学ぶ社会学（入門編）